# 第一問 次の文章を読んで、後の問い(問1~7)に答えよ。

いう認識をつくるには、 まれてきてからずっと存在し、自分はそれを物心ついたときからきちんと認識していると感じるのが普通だと思います。 に認知した要素を組み合わせて自分自身で織り上げるのが「自分」という存在であるといえます。 しかし、社会心理学の「自己認知」という研究リョウイキの知見からは、自分という一つの実体のようなものがあると 私たちは普段、自分が自分をどのように認識しているかについて改めて考えることはないでしょう。自分というのは生 かなり高度な心の働きが必要だということがわかっています。高度な心の働きを使ってさまざま

自分に関してそのように抽象的なことを、何の基盤もなくいきなり認識するのは難しいことです。 たとえば、自分は優しい人間だと自分で思っているとしましょう。しかしその「優しい」というのは抽象的な概念です。

ード記憶」と言います。エピソード記憶をどれだけ大量に集めても、「優しい」という抽象的な理解に達することは困難で ことなど、さまざまな自分の体験についての記憶です。このような体験した事実についての記憶を、 私たちが生まれてから現在までのあいだ、自分について知っていることは、自分の行動や自分について人から言われた 心理学では

す。

と言われたなどの個々の出来事の記憶から、自分には共通して人に優しくする傾向があるという共通項を抽出します。共 それに概念を当てはめる(ラベルをつける)という精神的な作用が必要です。たとえば、自分の大量の過去の記憶のなか 自分というものを織り上げるには、自分についての大量のエピソード記憶を取捨選択し、共通項を自分なりに抽出して、 かつて友達にノートを貸してあげたとか、電車のなかで人に席を譲ってあげたとか、お母さんに「あなた優しいわね\_

自分に当てはまりそうなものをピックアップして当てはめます。これではじめて、自分は優しいのだと認識することがで 通項を抽出する際には、自分には性格というものがあるはずだと考え、自分が知っている性格についての概念のなかから

実は性格が存在するというのも一つの考え方であり、自明の事実ではありません。

きます

ています。たとえば、怒りやすい人はちょっとしたことでよく怒り、優しい人は昨日も今日も明日も、誰に対しても優し く接してくれると考えています。性格が変わらないかぎり行動は変わらないとも思っています。 通常私たちは、人には性格というものが存在し、いろいろな場面や時において性格に基づいて一貫して行動すると考え

ます。そして、それが状況に影響されたものであることが、自分の行動であればよくわかります。誰の前で、どのような す。たとえば自分の行動を振り返ってみれば、家族の前、友人の前、学校の先生の前、上司の前ではそれぞれの場合でと 状況で行動するかによって、よくする行動のレパートリーを使い分けることもあるかもしれません。 る行動が異なるでしょう。同じ言葉をかけられたとしても、相手が誰か、状況がどうかによって自然に違った行動をとり しかし、人間の行動には状況の影響が大きく、同じ人でも置かれた状況や時によって行動が変わることが大いにありま

者のなかに何らかの安定的な原因があると想定し、他者の行動を説明し予測しようとします。そこで、性格という概念を 作り出し、性格が行動の原因となって状況や時や場合を超えて一貫した行動傾向があると考えるのです。 ところが、私たちは他者の行動の原因を説明し、予測しようとする場合には、そのようなことを忘れてしまいます。

このように、性格という概念は他者の行動を説明したり予測したりするために使われる概念ですが、自分の行動を説明

自分を理解するためにも使われます。

たとえば、新しく自分がおこなった行動や考えについて意味づけをしたり、これから自分がすることについて判断したり 自分のなかで自分に対する理解ができあがると、それを記憶のなかに蓄えておき、必要に応じて取り出して使います。

分自身についての自分なりの理解の枠組みを作り、イジしていきます。これを社会心理学では「セルフ・スキーマ」と呼 んでいます。セルフ・スキーマについては後ほどもう少し詳しく説明します。 します。その積み重ねによって、私たちは自己を認知するとともに、認知の内容を日々更新しているのです。そして、

その結果、私たちは現実の自分とはかなり違ったかたちで自分自身を認識しています。以下ではそういったバイアスにつ 込む余地があります。自分の体験の認識、記憶、それに対する意味のフヨ、さらに自分の性格の推論、などの過程です。 いて紹介していきます。 以上のように、自己を認知するには高度な心の働きが必要になります。そして、その高度な過程には、バイアスの入り

か。 のことをいいと考えていることを示す実験結果があります。それでは、どんなふうに自分を良いと考えているのでしょう かもしれません。しかし、社会心理学の自己認知の研究では、私たちは鬱などにかかっていないかぎり、実際よりも自分 たとえば私たちは普段、自分のことをいいものだ、と思っています。「いやいや、そんなことは思っていない」とお感じ 私たちは自分というものを高度な精神の働きで作り出しているのですが、その作り出し方にはかたよりがあります。

に入るでしょうか。「人並みか、それよりは高いくらいかなあ」と思われたでしょうか。 のを聞いたことがあるかもしれません。あなたの人間力は、あなたと同じような人のなかでは上から何パーセントぐらい 突然ですが、あなたは、自分のコミュニケーション能力は人と比べて高いほうだと思いますか、低いほうだと思います もしあなたが就職活動中の学生さんやビジネスにタズサわる方であれば、ビジネスには人間力が必要だと言われた

に入ると回答した人が25%いました(Myers, 1987)。 か」と尋ねたところ、同じような回答者のなかの上位10%以内に入ると答えた人が60%いました。さらには上位1%以内 ある社会心理学の研究では、「あなたは自分の社会性は、あなたと同じような回答者のうち上位どれぐらいだと思います

傾向があります。 25%もいたのは、率から言うとさらに多くなっています。このように、人間は自分を実際よりも良いものだと考えたがる ですから、上位10%に入ると回答した人が60%もいるのは、どう考えても多すぎます。さらに、1%以内と回答した人が 当たり前の話ですが、仮に「社会性」を点数化できたとして、上位10%以内に入る人は回答者全体の10%しかいません。

ろん、ここでは物理的に高くするという意味ではなく、価値が高いものだと考える、つまり魅力的で良いものであると思 うという意味です これを「自己高揚動機 (self-enhancement motivation)」といいます。enhanceとは「高くする」という意味です。もち

世界の人類のなかでも抜群に足が速いと考えることは難しいでしょう。なぜなら、走ったときのタイムは客観的な方法で 測定することができ、測定すると自分の足の速さが人類のなかで抜群かどうかは明白にわかってしまうからです。 生物としての長い進化の過程で、自己高揚動機を持っているものや集団が生き残ってきました(Sedikides et al., 2004)。 al., 2019)。そうでないと、精神的に健康に生きていくことは難しく、場合によっては鬱病になったりします。そのため、 自分で自分をいいものだと感情的にも認めていることは、心理的に周囲の状況に適応していくうえで重要です (Dufner et 前章でポジティブ幻想について説明しましたが、人は自分がいいものだと考え、また、感情的にもそう感じています。 しかし、いくら自分を良いものだと考えたいといっても、たとえばオリンピック級の陸上選手でもないかぎり、自分は

関係を営んでおり、就職活動をするうえで、「コミュニケーション能力」や「人間力」、「社会性」はあるほうが良いと考え られることが多いでしょう。つまりこれらの特性は良いものだと考えられています。 なわからないようなところがあります。測定も、陸上競技ほどには客観的な方法で行うことができません。そして、 それに比べて「コミュニケーション能力」「人間力」「社会性」といった概念は、まず定義が曖昧で、中身はわかるよう

このような、曖昧かつポジティブな特性は自己高揚動機の対象となりやすくなります (Dunning et al., 1989)。自分に都

合のいいように考えても客観的な測定でクツガエされることがなく、かつポジティブな特性なら「自分には備わっている」

と考えたくなるからです。

な場合、人は自分の成績を実際よりも良い方向に認識をゆがめることで、自己高揚を行います(Klein et al., 2006)。 ィブ幻想があるほうが普通だと言えるでしょう。反対に、鬱にかかった人は、かかっていない人と比べてある意味では正 このように私たちには自分を実際以上にポジティブに認知しようとする傾向があります。精神的に健康であればポジテ しかし、たとえ遂行の程度が測定可能なものであっても、自分の成績が他の人と比べてどのくらいかという情報が曖昧

な認知の枠組みを使っているからだと考えられています。 鬱にかかっている人の自己認知が正確になるのはなぜなのでしょうか。それは、 鬱状態にある人は自分に関して否定的

確な自己認知を持っているともいえるのです(Lewinsohn et al., 1980)。

人間は、自分の周囲にある物事を認知するときには、枠組みとなる知識を使っています。このような知識のことを「ス

キーマ」と呼んでいます。

組みを使って自分に関連するさまざまな情報を認識しているのです。そして、自分に関するスキーマとは、いろいろな社 会的状況を通じても変化しない、自分の核になる側面(Markus & Wurf, 1987)とも言えます。 み出されてくるものであることは、先ほど見たとおりです。高度な認知をする際に、その前提としてまず認知のための枠 枠組みを使って認知しているなんて、ちょっと意外な感じもします。しかし、自分というものが高度な心の働きの結果生 のスキーマを、「セルフ・スキーマ」と呼びます(Markus & Wurf, 1987)。自分に対して外の物事と同じように何らかの スキーマは、自分の周りの物事を認識するときだけではなく、自分自身に対しても使われています。この自分について

定的に捉えるスキーマを持っています。そのため、自分に関する否定的情報をよく思い出したり、否定的情報を使って推 そして、スキーマがどのようなものかによって、認知する中身も影響を受けます。鬱状態にある人は、 自分に関して否

りの結果にならなかったこと」などの否定的なことを多く思い出し、それをもとに推論します。 論したりします。たとえば、自分の性格、能力について考えるときに、人から「暗いと言われたこと」や「試験で思い通

鬱にかかっている人は、自分に関する情報をポジティブにゆがめることがありません。その結果、自己認知は相対的に

正確になると考えられます。

き残りにおいてかえって不利になることもありうるのです。 いるほうが合理的に判断できるため望ましいと考えられてきました。しかし、正確な認知を追求しようとすることが、生 自分のことも周囲のことも正確に認知していたほうが望ましいように思えます。心理学や経済学では、正確に認知して

(藤田政博『バイアスとは何か』による)

(注) 1 前章 —— 本文として引用した箇所より前に述べられている。

問 1 傍線部アーオの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群のa~dのうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

ア が 1
1
`
<b>イ</b> が
2
ウ が
3
,
エ が 4
4
•
オ が 5
5

<b>ウ</b> フョ <b> </b>	イ イ <b>I</b> ジ	アリョウイキ
aメイヨをたたえるb医学の発展にキョする	a成績のスイイを分析するbイサイを放つcトウイ即妙に答える	a 演技にミリョウされる   b メイリョウに発音する   c ヨウリョウを得ない話

<b>オ</b> クツガエされる				エ タズサ わる			
С	b	a	C	t	С	b	a
感情のキフクが激しい	フクム規定に違反する	絵画をフクゲンする	争術にこでなって渡り	<b>急前こグカー/バボン</b>	伝統文化をケイショウする	記事を雑誌にケイサイする	大学が企業とテイケイする

d フクスイ盆に返らず

- a~eのうちから一つ選べ。解答番号は 6
- さという概念に該当する体験を数多く見いださなければならないから。 人に親切にした体験や「優しい」と言われた経験など大量のエピソード記憶のなかから、自分の抱いている優し 自分は優しいと考えることは、自分の中に存在する優しい性格に気づくことであるが、それに気づくためには
- を積み上げ、優しい自分を織り上げていくことであるから。 をピックアップし、その概念に沿った行動を意図的に行うことで「優しい」という共通項を持つエピソード記憶 自分は優しいと考えることは、自分が知っている性格の概念のなかから自分にふさわしいものとして「優しい」
- がら、同時にその共通項にふさわしいラベルとして、自分が知っている性格の概念のなかから「優しい」を選ん で当てはめなければならないから。 自分は優しいと考えるには、大量のエピソード記憶を取捨選択し、自分の行動傾向がわかる共通項を抽出しな
- 要があるため、物心ついたときから自分は「優しい」と思っている人でも、年月をかけて社会でさまざまな経験 を積まなければならないから。 自分は優しいと考えるには、抽象的な概念である「優しい」にふさわしいエピソード記憶を大量にそろえる必
- ておかなければならないから。 なエピソードを取捨選択するだけでなく、その特徴のラベルとなる「優しい」という抽象的な概念を深く理解し 自分は優しいと考えるには、自分に関するエピソード記憶を大量に集め、自分の行動傾向を考えながら特徴的

問 3 分の行動であれば」どういうことがわかると言っているのか。その説明として最も適当なものを、次のa~eのうち 傍線部B「それが状況に影響されたものであることが、自分の行動であればよくわかります」とあるが、筆者は「自

から一つ選べ。解答番号は 7

- いて自分の性格を分析することで、似た性格の他者については更に正確な予測ができるということ。 人は性格をもとに他者の行動を予測しているため、自分の行動がどのような状況に影響されているのかに基づ
- 行動と性格は無関係であることが自分については自然に理解されるということ。 状況や時や場合を越えて一貫しているのが性格であり、人の行動は性格で説明できると私たちは考えているが、
- С からないため、正しく理解できるのは行動の理由がわかる自分の性格だけだということ。 人の性格を私たちはよくわかっていると思っているが、他者の行動がどのような状況に影響されているかはわ
- d けることで性格は容易に変えられることを、自分のことであれば理解できるということ。 人の性格は簡単に変わらないものだと私たちは考えているが、性格のもととなる行動のレパートリーを使い分
- やすく、性格があると一概には言えないことを自分についてなら理解しやすいということ。 人には性格というものが存在すると私たちは考えているが、そもそも性格のもとになる行動は状況に影響され

問 4 次に示すのは、傍線部で「ある社会心理学の研究」について、五人の生徒が話し合っている場面である。本文の趣

旨として**適当でないもの**を、次のa~eのうちから一つ選べ。解答番号は 8

る。自分についてポジティブに考えている人が多いということだね。 上位三○人に入ると思っている人は一八○人、上位三人以内に入ると思っている人は七五人いるということにな 生徒 A ―― この研究の結果をわかりやすくするために、私たち三〇〇人の三年生で考えると、自分の社会性が

b はずだと思うことで安心して周囲の人たちとやっていけるという面もあるね。 生徒B――自分の社会性は人と比べて高いほうだと考えがちだという話はよくわかる。自分は平均よりも高い

С も悪いことは起きないと考えたりするのも、同じようなことだよね。 生徒 C ―― いくら悪い点をとっても自分は実力が出せていないだけだと考えたり、自分には良いことは起きて

d トの結果について尋ねたらこうはいかないだろうね。 生徒D-―― 数値化することが難しい能力についての質問だからこのような結果になったのだろうね。体力テス

е 広い視野で自分を客観的に評価しなければならないという教訓が研究結果からもわかるよね。 - 自分の能力を過大評価すると、先生や親から「井の中の 蛙 大海を知らず」と戒められるけれど、

問 5 本文を授業で学んだFさんは、本文で述べられている「スキーマ」について【ノート】のようにまとめた。空 番号

は	欄	
9 .	I	
	II	
	に入る最大	
	入る最も適当なものを、	
	•	
	後の各群のa~dのうちから、	
	く d のうt	
	らから、そ	
	、それぞれ一	•
	つずつ選べ。	
	解答系	

鬱状態のとき	∫ 精神的に健康な状態のとき 自己高揚動機やポジティブ幻想で認知がゆがむ	セルフ・スキーマ=自分を認知するためのスキーマ	I	スキーマ=自分の周囲にある物事を認知する枠組みとなる知識	[ノート]
П	ティブ幻想で認知がゆがむ			知識(定義)	

Ι に入る内容 9

スキーマが異なれば、同じ物事についても異なった認知をする

スキーマは、経験を重ねることによってしか更新することができない

高度な認知をするためには、多様なスキーマを使い分ける必要がある

高度な認知をするためには、ポジティブなスキーマを持つ必要がある

d

С

b

a

## Ⅱ に入る内容 10

- a 正確さにこだわり細かいことに気づくため、周囲の状況に適応できる
- b 否定的なスキーマを持っているため、周囲の状況に適応できる
- С 高度な心の働きがポジティブ幻想を打ち消すため、比較的正確に自己認知できる
- d 否定的なスキーマがポジティブ幻想を打ち消すため、比較的正確に自己認知できる

# 問 6 本文で述べられている「バイアス」についての説明として最も適当なものを、次のa~eのうちから一つ選べ。 解

### 答番号は 11

- 自己認知の過程でバイアスが働くため、私たちは現実の自分とはずれた自己像を作り上げる傾向がある。
- b 人間力など定義が曖昧で社会的に良いものと考えられている概念には、バイアスが入り込みにくい。
- さまざまなバイアスの研究を通して、人間の精神作用の仕組みや対人関係のメカニズムが解明された。

С

е

- d 認知の過程でバイアスが働くと周囲の状況を正しく把握できなくなり、ビジネスにおいて不利になる。
- 人間の心の働きにはバイアスが入り込みやすいが、自己を客観視することでバイアスを防ぐことができる。

#### 問7

本文の表現などに関する説明として**適当でないもの**を、次のa~eのうちから一つ選べ。解答番号は 12

- 一般的に自明の事実だと思われていることについて、異なる見方もあるということを指摘している。
- 「自己認知」、「エピソード記憶」など心理学用語を駆使することで、より正確な認知の仕方を教示している。
- С 身近な事例を用いたり、「です・ます」調を用いたりして、自己認知の仕組みを親しみやすく解説している。
- 段落の冒頭に接続表現を多用することによって、段落相互の関係や論理の展開をとらえやすくしている。 海外の研究や文献を踏まえるなど学術的な背景に基づいて説明することで、内容に客観性をもたせている。

d

е

b

— 14 —

答えよ。

最も強くもっているのも自分である。したがって自分の判断で自分の幸福を追求する自由を個人に認めれば、結果的に人々 あるか、それを実現する手段が何であるかを最もよく知っているのは自分である。さらに、自分の幸福を実現する動機を の幸福の総和も最大化されるはずである。 古典的功利主義者ベンタムは、自由の尊重は幸福の最大化につながると考えた。理由はこうである。自分の幸福が何で

身の幸福を強制の目的ないし正当化根拠にする。これがパターナリズム(父権的干渉主義)と呼ばれるものである。父親 りでいろいろ干渉してくるが、息子はそれをうるさがり反発する。そういう状況を原風景にした言葉である。 が息子に対して、おまえは未熟者だ、そんなことをしたら身を滅ぼすという理由でいろいろ干渉してくる。保護するつも の法的強制は個人が他人に迷惑をかけないようその行動を制約するが、ここで問題になっている強制は強制される本人自 幸福にすることが法の任務だという立場を貫くと、結局人々を幸福にするために人々を強制することが必要になる。通常 徴的に示しているように、むしろ自分で自分を破滅させることがままあるではないか。このような人間観の下で、人々を 最大の関心をもつ者なのか。現実には人間は弱いものであって、アルコール依存症とか、麻薬やギャンブルへの耽溺が象 しかし、この議論の前提が現代では疑われている。本当に個人は自分自身の幸福の最善の審判者であり、それに対して

いるというイメージがあったが、現代ではさらに進んで社会のほうが政府の庇護的介入を求め、政府への依存・甘えを深 動の抑制や更生支援のためにパターナリズムが必要な場合はある。しかし現代では福祉国家的管理の浸透とともに、パタ ・ナリズムの過剰が問題になってきた。もともとパターナリズムという言葉の背景には、干渉される側は自立したがって たしかに、自殺のような回復不能な選択や、麻薬使用のように本人が後悔しても自力更生の困難な選択など、 衝動的行

の動きもあるが、戦後日本社会ではマターナリズムがこれまで強かったように思う。そこには次のような問題が潜んでい のような未熟な依存関係を原風景にした言葉である。マターナリズムとは例外から原則に転化したパターナリズムであり めるという問題が出てくる。以前ある法律雑誌の座談会で私はかかる傾向をマターナリズムと呼んだ。「母子カプセル」 「なぜ干渉するのか」よりも「なぜ放置するのか」が問われるほど社会的に受容されたパターナリズムである。最近反省

る。

互の対話を通じて公正なルールを自主的に形成する能力も成熟を阻まれる。 導入されてくる。その結果、 あるが、他面では行政の市民生活への介入統制の強化をもたらしている。何かトラブルがあると行政が面倒を見なければ が行政を突き上げて自己の要求を通そうとする。住民運動にも見られるこの傾向は一面では人々の政治的主体性の発揮 の責任を追及する。また紛争が生じると、対立当事者が面と向き合って対話を続け自主的解決を図るより、 ならないとなると、 教育、 治安等々何か住民が不安をもつ問題が生じるとまず行政に対処を要求する。 1 ] で、あるいはもめごとの芽を事前に摘み取るために、公式非公式のもろもろの規制 個人の自由や責任感が腐食し、さらには市民の公共性創出能力、すなわち対立する人々が相 何か事故が発生すると行 それぞれの側

由 は逆に個人の自由よりも幸福を優先させるパターナリズムを跋扈させ、さらにパターナリズムの浸透は行政権力を肥大化 させる一方、社会の行政依存体質を高め、テクノクラシーに対抗しうる市民的公共性を侵食したのではないか。このよう ホッブハウスらに見られるように、本来、個人の自由の社会的実質化を志向していた。しかし、 な憂慮が、 (自律と自治) という価値の再評価と、 ..様な問題意識は欧米においても珍しくない。リベラリズムの自己改造として唱導された福祉国家の思想は、 市場中心的な反福祉国家論とは一線を画した民主主義の活性化を求める論者たちからも表明されている。 法の自由保障機能の重要性の再認識が必要である。 福祉国家の現実は思想と 幸福に還元されない自 Т

通りにしていればよいと思い込みがちである。患者の方でも「先生にお任せします」という態度をとる人が依然少なくな 専門家たる自分の方がよく知っているとし、また病める患者を保護さるべき弱者とみなしているから、 その意味でパターナリズムは従来の医師患者関係の構造的特性である。しかし他方、患者の自己決定権をもっと尊重 ターナリズムは医療や医療行政との関係でも大きな問題になっている。 医師と患者との新たな協力関係の構築が必要ではないかという問題意識も浮上してきている。 一般に、 医師は、 何が患者のためになるかは 患者は医師の言う

患者自身に選択させることが必要だったのではないか、ということである。 れる不確実なケースにおいては、率直に複数の処置方法のメリット・デメリット、あるいはリスク等々を説明したうえで がある。すなわち、最終的に命を失うというリスクを負わされるのは患者自身なのだから、専門家にとっても判断が分か 者の判断が正しかったのかどうかは専門的に検討さるべき問題であるが、それに解消されてはならないもっと重要な問題 熱製剤と加熱製剤、 社会的に大きな注目を浴びた非加熱製剤による血友病患者のエイズ感染事件も、 クリオなど、それぞれにメリット、デメリットがあっただろう。それについての当時の医療行政関係 かかる問題意識を触発している。

義務を負うのに、それを怠ったことが妻の死をもたらしたとして、日本赤十字社を相手に損害賠償を請求した。 おいたところ、結局彼女は胆のう癌が進行して亡くなった。そこで彼女の夫が医師は診療契約上、 と判断したが、彼女には の社員旅行でシンガポールに行くとか、仕事が忙しいとか、家族の事情等々があるということで、 入院できないという。そこで入院の期日を延ばしたが、その日になってもやはり来なかったので、 九九五年に最高裁判決が出た事件にここで照明を当ててみたい。これは下級審段階から注目され論評されていたもので これほど大規模な事件ではないが、日本の医療体制に浸潤するパターナリズムの問題性を一層先鋭に示すものとして、 一九八三年に、ある中年の女性が名古屋の日本赤十字病院で診察を受けたところ、担当医は胆のう癌の疑 「胆石症の疑いがある」という理由で精密検査のための入院を勧めた。ところが、彼女は勤め先 医師が指定した日には 的確な情報を提供する 医師もそのままにして いがある

れるかわからない、検査入院後どういう家族が来るかを見た上で適当な家族に告知するつもりだったという医師側の主張 さらに夫に知らせなかったことについても、家族関係はそれぞれの患者ごとに違うから、どの家族がどの程度協力してく 最高裁は、医師が胆のう癌の疑いで検査することを告知しなかったことは、当時の医療慣行からも不当とはいえないとし、 れば入院させたのに、それさえしなかったのは医師の責任ではないか。原告側は大体このような主張をしたが敗訴した。 うと思って入院しなかったわけで、本人の┃ ②┃┃とするのはひどいではないか。せめて夫である自分に知らせてくれ 胆のう癌の疑いがあると言われれば妻は何をさしおいても入院したはずである。担当医がそれを隠したから大丈夫だろ

これはいろいろ考えさせられる事件である。本人にショックを与えないために癌(の疑い)を告知しないというのは

そうだとすればなおさら、 制・人員体制では、一人一人の患者についてとてもそこまで面倒を見ていられないというのが本音かもしれない。しかし、 もっと「威嚇効果」の強い別の情報操作をするなり、何らかの措置をとるべきだったろう。実際のところ、既存の医療体 説得力に乏しいが、それなら。予 め家族関係の確認の労をとるべきだし、あるいは本人との連絡の労をもっととるなり、 本人が来なかったら、少なくとも夫には知らせるべきだったろう。家族関係がわからないと知らせられないという口実は 救済する責任をとろうとしない。進行性の胆のう癌の疑いという本人の命に関わる情報を医師が本人に隠蔽したのである。 ズム」の無責任さともいうべきものを感じざるをえない。つまり、個人の幸福をその本人に代わって配慮する責任を本当 己決定を阻害しているという意味で、これは一種のパターナリズムである。しかし、私はそこに「中途半端なパターナリ して情報作業をしておきながら、その結果誤った情報に基づいて本人が致命的な選択をしてしまうのを放置し、その人を 本人を直接強制するものではないが、個人の自己決定に不可欠な情報を本人の幸福のために奪い、それによって本人の自 に引き受けるパターナリズムならば、それなりに筋が通っている。ところが、本件のような場合、医師は本人のためだと 患者が自分で自分の身を守れるように真実を告知する義務が医師側にあるはずである。

無責任な自惚れに対する警戒が必要である。操作干渉される人々の自己決定権だけでなく、操作干渉主体の幸福配慮能力 保護者であると自惚れることもできないのである。法によってパターナリズムを執行ないし許認する場合も、 かに、我々は自己の幸福の最善の保護者であるとは限らないが、同様に、あるいは一層強い理由で、他者の幸福の最善の 認識させる。他者の幸福に責任をもつことは並大抵のことではなく、高度の能力と熱意、そして資源を必要とする。パタ 題性は、 ーナリズムの実践者は自らがそのような能力・熱意・資源を本当に備えているのか、常に謙虚に反省すべきである。たし 患者の自己決定を阻害しておきながら患者を救済する責任を十分にとろうとしない「中途半端なパターナリズム」の問 上述のエイズ禍事件にも通じている。このことは逆に、パターナリズムがその実践者に重い責任を課すことを再

の有限性が、安易なパターナリズムを戒める。

(井上達夫『法という企て』による)いのうをたっち

注 1 ベンタム ―― ジェレミ・ベンタム (一七四八~一八三二)。イギリスの哲学者。

2 L・T・ホッブハウス —— イギリスの社会学者 (一八六四~一九二九)。

3 テクノクラシー ―― 特定の問題に精通している技術的な専門家によって運営される社会体制

4 エイズ感染事件 一九八〇年代に日本で起こった薬害事件。加熱処理をしていない血液凝固因子製剤を血友

病患者に使用したため、多数のHIV感染者およびエイズ患者を生み出した。

問 1 傍線部ア·イの本文中におけることばの意味として最も適当なものを、次の各群のa~eのうちから、それぞれ一

つずつ選べ。解答番号はアが [13]、イが [4]

跋扈させ 耽溺 С С e e b d b а d а 助長させ たむろさせ 早めさせ 物事に打ち込み集中すること 心を奪われてうっとりすること 夢中になって他を顧みないこと はびこらせ 理解させ 興味がわき関心が深まること 深く心を惹かれ敬愛すること

1

ア

空欄
1
_
2
】に補うことばとして最も適当なものを、
次のa~e
のうちからそれぞれ
れ一つずつ選べ
0

解答番号は 15・16

問 2

| に入る語句 | 15

a 身から出た錆

d 鬼に金棒

b

先ず隗より始めよ転ばぬ先の杖

С 餅は餅屋

е

自業自得

е

d

馬耳東風

生殺与奪

b

2

| に入る語句 | 16

a 二律背反

С 疑心暗鬼

意図でマターナリズムという概念を提示したのか。その説明として最も適当なものを、次のa~eのうちから一つ選 傍線部▲「以前ある法律雑誌の座談会で私はかかる傾向をマターナリズムと呼んだ。」とあるが、筆者はどのような

べ。解答番号は 17

めるべきだとするベンタムの考えを復権させるため。 自分の幸福を実現する手段が何であるかを最もよく知っているのは当人であり、幸福を追求する自由を個人に認 マターナリズムの概念を示すことによって社会が未熟な依存関係に陥っている現状を人々に明確に認識させ、

という概念で提示することで、問題点を浮き彫りにするため。 を求め行政もこれに応えるという未熟な依存関係が広がっていることを懸念し、こうした状況をマターナリズム 本来パターナリズムという言葉は干渉される側の自立を前提とするものであったが、社会が行政に対して庇護

法的強制は個人が他人に迷惑をかけないようその行動を制約するものであるにもかかわらず、本人自身の幸福を 強制の根拠として正当化していることを戒めるため。 パターナリズムをより先鋭化するマターナリズムという概念を提示することで人々に現状を認識させ、本来の

d 家との良好な信頼関係を定着させるため たことを好意的にとらえ、こうした状況を表象しているマターナリズムという概念を提示することで、社会と国 福祉国家的管理の進行によって、社会が政府の庇護的介入を求め、政府もこれに応えるという姿が浸透してき

て施行する必要性について説明するため。 があるため、マターナリズムという保護的な概念を提示することで、人々を幸福にするための強制力を法によっ 人間には自分を律することが求められるが、現実には人間は必ずしも強くなく、自分で自分を破滅させること

- の自由や責任感を停滞させ、市民が公正なルールを自主的に形成する能力を衰退させる。 パターナリズムは、人々の幸福達成を志向するものであるが、社会の行政への依存体質を高めることで、個人
- b 要求に応えようとする行政の市民生活への介入が強化され、市民と行政との対立をもたらす。 パターナリズムは、市民自らが行政に幸福の要求を行うことにより政治的主体性をもたらすが、一方で市民の
- С 導入するだけでなく、発生したトラブルへの対応もしなければならず、業務の拡大のために行政が疲弊する。 パターナリズムは、福祉国家の形成を目指すものではあるが、行政はそのために社会の規制や市民への指導を
- ら行政への依存体質を高め、市民を指導する立場となった行政権力を肥大化させる。 パターナリズムは、個人の自由の社会的実質化を志向するものではあるが、社会が複雑化すると人々は不安か
- けでなく、不安を解消するための予防策を要求するなど、市民の過剰な権利意識を生じさせる。 パターナリズムは、福祉国家の実現を目指すものではあるが、何か事故が発生すると行政の責任を追及するだ

て最も適当なものを、次のa~eのうちから一つ選べ。解答番号は 19

- の入院を勧めており、こうしたことは当時の医療慣行からも不当とはいえないという最高裁の判決を支持しつつ 患者に対して胆のう癌の疑いを医師が告知しなかったものの、「胆石症の疑いがある」という理由で検査のため 事実を夫である自分に知らせて欲しかったという原告の主張にも一定の理解を示している。
- b るため、本人が自身の身を守れるように事実を告知しなかった医療側の責任は重く、判決を不当としている。 しないのは、個人の自己決定に不可欠な情報を本人から奪い、それによって本人の自己決定を阻害するものであ 医療機関として患者にショックを与えないような配慮をすべきではあるが、患者本人に胆のう癌の疑いを告知
- 係の構築が必要であるとしつつも、医師の対応を受け止めなかった患者の責任が大きいとしている。 るが、指定した日には入院できないという患者の意向を受けて様々な対策を講じているため、今後双方の信頼関 診療契約上、患者の自己決定権を尊重するための的確な情報を提供する義務を医師が果たしていないとも言え
- d 本人に代わって引き受ける覚悟がなくてはならず、患者への配慮とはいうものの誤った情報に基づいて本人が致 命的な選択をしてしまうのを放置し、救済しなかったことは問題があるとし、判決への疑念を表している。 進行性の胆のう癌の疑いという本人の命に関わる情報を本人に隠蔽するのであれば、医師に個人の幸福をその
- できなかったという現実の課題を判決の論拠として医師側の主張を受け入れるべきであったと考えている。 係の不明を理由とするのは説得力に乏しいため、むしろ既存の医療・人員体制では一人一人の患者について対応 患者への告知をしないのならば、家族関係を確認するなどして誰かに伝えることはできたはずであり、

問 6 要である。」とあるが、ここで筆者はどのようなことを言おうとしているのか。その説明として最も適当なものを、次 傍線部D 「法によってパターナリズムを執行ないし許認する場合も、このような無責任な自惚れに対する警戒が必

- のa~eのうちから一つ選べ。解答番号は 20
- 可欠な情報を隠蔽し、それによって本人の自己決定を阻害することは許されるべきではないということ。 る手段は本人が最もよく理解しているため、多くの知識を保有している専門家といえども、個人の自己決定に不 パターナリズムが過剰ともいえる状況になり法の世界にも浸透しつつあるが、幸福のとらえ方や幸福を実現す
- を強制の目的とするパターナリズムの場合は、個人の幸福をその本人に代わって配慮する責任を完全に引き受け なければならないため、個人情報の取り扱いに関して社会で厳格なルールを設けるべきだということ。 法とは通常、個人が他人に迷惑をかけないようその行動を制約するものであるが、強制される本人自身の幸福
- 択をした場合は、法治国家としての社会はこれを放置することなく、個人を救済する責任があるということ。 定をすべきであるが、日本社会がパターナリズムを標榜している以上、誤った情報に基づいて本人が致命的な選 幸福には還元できない自由というものがあり、本来各人が自分の身を守れるように情報収集に基づいて自己決
- 続けられる国家でなければ、法によるパターナリズムの実践には問題が生じる可能性が高いということ。 他者の幸福を強制の根拠にするパターナリズムにおいては、強制に対する責任をもつことは並大抵のことでは 高度の能力と熱意、資源を必要とするため、そうしたものを本当に備えているのか、謙虚な姿勢で確認を

d

由を尊重しなければならないため、他者の幸福に対して強制力を働かせる場合は、自己決定に重要な情報をでき るだけ開示しつつ、執行する側が自らの幸福配慮能力の有限性を認識しながら責任を果たすべきだということ。 パターナリズムは操作干渉される人々の幸福を志向するものではあるが、法においても幸福に還元されない自

#### 問 7

本文の構成に関する説明として最も適当なものを、次のa~eのうちから一つ選べ。解答番号は 21

ら浮き彫りにし、パターナリズム実践者の責任能力の向上が課題解決の要件となるとまとめている。 古典的功利主義に変わるパターナリズムの功罪を述べたうえで、パターナリズムに関する課題を医療の視点か

b 析し、医療における課題を克服するためには厳格なパターナリズム導入が必要だと結論づけている。 日本社会におけるパターナリズムの特徴を述べたうえで、医療行政を例に取り上げながら問題点を多角的に分

С いて具体的に説明し、こうした事例に則してパターナリズムの執行には厳格な責任が伴うとまとめている。 パターナリズムに関する日本社会の現状を述べたうえで、医療や医療行政におけるパターナリズムの課題につ

d で課題を掘り下げ、法によってパターナリズムを執行することは困難であると結論づけている。 パターナリズムが抱える問題点を行政の視点から述べたうえで、医療における事例によってさらに具体的な形

ナリズムの課題を指摘し、操作干渉主体の自惚れに対する警戒が必要だと述べてまとめとしている。 福祉国家の形成におけるパターナリズムの重要性について説明したうえで、日本の医療体制に浸潤するパター

問 8 次に示すのは、本文を読んだ後に、五人の生徒が話し合っている場面である。本文の趣旨として適当でないものを、

次のa~eのうちから一つ選べ。解答番号は22

- 思っていたけれど、人々を幸福にするために行動を強制するという側面もあるんだね。 生徒 A ―― 法というのは、個人が他人に迷惑をかけないようにルールを設けて人々の行動を制約するものだと
- b するのならば、そのことに伴う多大な責任を引き受ける覚悟が必要になるというわけだ。 生徒B――本文では、医療に関する問題を取り上げているね。個人の幸福をその本人に代わって配慮しようと
- その結果誤った情報に基づいて本人が致命的な選択をしてしまうのを放置するのは責任放棄と言えるよね 生徒 ( ―― 医師は患者の幸福を願って治療などの説明を行っているはずだけど、情報操作をしておきながら、
- d 人々が欲しい情報にアクセスする権利の拡充と多様な情報を開示することが求められるよね。 生徒D――その一方で、患者の側も自己決定に不可欠な情報を収集する必要があると思うよ。そのためには
- 法の目的は人々の幸福の追求なのだから、法に個人の自由を保障する役割はないよね。 ―― 自己決定を促す自律や住民が自らの生活のあり方を選択する自治に価値を置く必要はあるけれど、